

社団法人全日本学生柔道連盟だより

第9号

2004年7月31日発行

編集・発行 経営担当理事部会

財政基盤確立のために運営指針(ガイドライン)を発表 ～新体制スタート 役員改選～

平成16年1月28日に開催された第17回臨時理事会において、柘植健司会長が再任され、副会長には井之上正信氏(再任)、佐藤宣茂氏(新任)が、常務理事には清水周氏(再任)が選出されました。また、事務局長には高木長之助氏(新任)が就任しました。なお、これまで理事の担当割りとして、経営・競技・財務からなる3部会制がとられていましたが、定款細則に従い経営・組織・競技・教育・財務・渉外の6部会制にあらためられました。これにより各部会単位での積極的な論議や提案等が期待されます。新役員及び担当は下表の通りです。

～スポンサー依存型の財務体質から、自主財源をベースの財務体質への転換を～

近年の経済情勢から、本連盟の収入基盤である大会賄替金収入が減少傾向にあり、バブル期に形成された大会運営等もあいまって連盟の財政構造の見直しは急務です。大会運営に限っていえば、大会の参加費、入场料、プログラム販売収入等で大会が開催されることが理想です。もとより連盟の財政は、大会経費と併せて連盟の本部管理費(維持管理費)や、海外等への研修費、講演会費等、多岐にわたっています。その点からも賄替金や寄付金等の財源を確保することは、大変重要です。しかし、連盟運営とは関係なく経済情勢は大きく変化していくことからも、自主財源を基本とした財務体質への再構築をはかることは、これから連盟運営の課題です。このような観点に立った、平成16年度収支予算が、過日の総会で承認されました。費用効果を誇ります。なお一層の節減と財源確保に向けて積極的な取り組みがされるはずです。

なお、平成15年度決算をうけた法人化後の収支推移は、下表の通りです。本連盟では、これまで、支出の見直し(削減)を、平成14年度から積極的に取り組み、特に主導の努力もあり、財政収支にプラス効果を上げています。その成果が15年度収支に大きく反映された決算となりました。平成14年度マイナス収支から脱却し、平成15年度はプラス収支(黒字)になりました。健全かつ安定した財政運営へ向かっています。

～柘植会長、続投にあたり運営指針(ガイドライン)を発表～

柘植会長は、再任(3期目)にあたり、景気に左右されな

理事(20名)順不同 6月25日現在

柘植 健司(会長)	工藤 正義
井之上正信(副会長)	小俣 幸嗣
佐藤 宣茂(副会長)	野田 豊
清水 周(常務理事)	大嵩崎日出夫
高木長之助(事務局長)	網倉 大介
湊谷 弘(組織担当主任)	片山虎之助
遠藤 純男(競技担当主任)	伊藤 剛
大谷 崇正(財務担当主任)	岩田 勝
中治 洋一(総務担当主任)	中原 一
柏崎 克彦(教育担当主任)	
長谷川 優(渉外担当主任)	

監事(3名)

安江 邦治	中西 康明	橋本 敏明
-------	-------	-------

い、持続可能な連盟運営をめざし、運営指針を発表。具体的にはIT化、経費節減、財源確保、会計処理のディスクロージャー、組織等の事務関係の項目と学生柔道の普及1項目としています。詳細は次の通りです。

1 IT化戦略の具体化とバージョンアップ

①コンピューター専用の徹底

②インフォメーションネットワークの構築

- ・会議開催通知をメールにて配信
- ・各地連盟または会員(加盟店)への通知をメールにて配信(当面は郵送と併用)

③連盟HPのリニューアル

- ・会長への手紙(ダイレクトメール)の設置
- ・透明性の確保(更新作業の定期アップ)
- ・他の間連諸団体とのリンク

2 ゼロベースの経費節減システムの構築

①事業費のマイナスシーリング(5%)

②事業費別の精算量度ガイドライン策定(大会経費の基準値設定)

③事務の簡素化を進め、内部管理費(事務経費)を10%圧縮

3 中長期的な視野にたった財源確保

①協賀企業・団体へのホスピタリティの充実(各種表彰や懇親会等の企画)

②赞助会員の拡大キャンペーンの実施(拡大目標額の設定と達成)

③財源確保に有効なメディアとの連携と拡充(TV放映等)

4 会計処理の再構築と情報開示

①大会主義から脱却し、会長指針に基く予算案の策定

②収入の一元化を徹底(収納の完全管理)

③監査制度の充実(中期監査の実施)

④ホームページ上の財務状況の全部公開(透明性を確保)

5 フットワークのいい組織へ

①理事長担当部会の分掌化を推進(事務分掌要項策定)

②会計規定及び連盟運営要項の整備

③専門委員会の活用

④事務局機能の質的な充実

法人化後の収支推移 単位千円

年度	収入	支出	差額	繰越
H 8	—	—	—	4,726
H 9	71,782	56,412	15,370	20,078
H 10	69,713	71,045	▲1,332	18,746
H 11	64,086	61,977	2,109	20,855
H 12	59,998	54,359	5,639	26,494
H 13	61,965	57,883	4,082	30,576
H 14	71,013	71,635	▲622	29,954
H 15	60,069	61,982	▲1,912	28,041
	64,366	57,523	6,842	34,883

※会員数：地区学生柔道連盟・2004年1月27日現在

北海道	東北	関東	東海	北陸	近畿	中国四国	九州	合計
27	29	40	45	31	18	51	30	317

<北海道>

今日は北海道学生柔道連盟独自の行事である北海道学生柔道新人大会のことをご紹介します。

新人大会は昭和40年に第1回大会を行い、優勝北海学園大学、準優勝北海道大学という記録が残されており、昨年第39回を迎えた歴史ある大会です。この大会が出来たきっかけは、秋から冬にかけて大会がない北海道内の学生柔道所属の各校の部員が、目標を持って練習を行いやすくしようという考え方から開催されたものです。

出場資格は1、2年生で、1チーム5名の団体戦、部員数が多い大学からは複数のチームが出場できるという大会です。

平成15年度は千歳開基記念総合武道館柔道場を会場に、北海学園大学の主導で実施しました。18の出場チームで優勝を競い、また、北海道独自のダブルレバチャージ方式の敗者復活戦も実施しました。

結果は最近輝迫目覚しい逆都大学が1チーム出場し、優勝、準優勝、三位を独占しました。この逆都大学の勢いが北海道内全大学に広がり、北海道学生柔道のレベルアップにつながることは、新人戦を開催した趣旨以上の効果になると想っています。

なお、今年度の新人戦は第40回となる節目の大会で、11月21日に千歳開基記念総合武道場で実施しますが、今年度から試合数が少ない女子選手も出場できる大会を同時に開催する予定です。

北海道学生柔道連盟
理事長 玉藤 正義

<東北>

①平成16・17年度新役員について

会長	石田 昭二	福島県柔道連盟・会長
副会長	佐々木 安廣	宮士大学・部長
理事長	遠藤純男	秋田経済法科大学・部長
副理事長	三戸範之	秋田大学・部長
副理事長	高橋俊哉	弘前大学・監督
事務局長	高橋富士男	東北学院大学・師範
監事	大間貴久	東日本国際大学・監督
監事	南條充寿	仙台大学・部長
学生委員長	崎田幸太	東北学院大学・主席



②第4回東北学連海外遠征の実績

東北学連では10年に一度、海外遠征を実施している。本年は3月10日から13日まで韓国・国立体育大学に遠征を行なった。

指導陣4名（遠藤純男会長、高橋富士男監督、大間貴久男子コーチ、南條充寿女子コーチ）、選手23名の経勢27名で仙台空港と秋田空港から翌日分れての遠征となった。

初日に体育大学との親善試合を行なったが、男子は一点差の惜敗であった。かつての大差敗戦の経験からしてみれば安心して竟争してられた。そして翌日には予想もしていなかった韓国の男子オショナルチームの元老が稽古に来てくれた。さすがに相当投げられてはいたが学生には頗ってもない稽古となつた。

女子はテクニクの選手権に行ってやはうやうやしチームと稽古をしたり、また国立大学生と試合をした。3戦したが最初は強引な組み手に負けていたが最後には続る展開にまでいった。

韓国選手の半数以上はブルー柔道衣を着ている。わが方の選手に履いてみると着てみたい、と言う。学生にじって違和感はまったくなく時代の趨勢である。

今回、7大学からの参加となつたが、それなりの稽古量にもかかわらず稽古に支障をきたすような方が一人も出なかつたことは何よりもよかった。学生にとって短期間ではあったがスタイルの違う柔道を体験し、加えて言葉も通じない国で行動したことだけでも成長であろう。これからは学生生活に活かしてほしい。

③アテネオリンピックの審判員に

8月に開催されるアテネオリンピック柔道競技の審判員に本学連の遠藤純男理事長が選ばれた。現役時代に加え、今回は審判員として2度目のオリンピックの晴れ舞台に立つこととなつた。その名審判で世界に範を示していただき

たい。

(1) 今年度の大会日程（地区予選会）

5月16日(日)

全日本学生柔道大会東北予選会（岩手県立武道館）

8月28日(土)

全日本学生体重別選手権大会東北予選会

8月29日(日)

全日本学生体重別選手権大会東北予選会（宮城県武道館）

東北学生柔道連盟
事務局長 高橋寅士男

<関 東>

平成16年度に向けて

本年1月に行った平成15年度関東学生柔道連盟総会において、役員改選があり、尾形敬史先生を会長とした2期目の体制が整えられた。名誉会長：竹内義徳（講道館・アジア柔道連盟会長）、顧問：出河達雄（城西大学）、専門委員会長：高橋隆治（国際武道大学）、会長：尾形敬史（茨城大学）、副会長：柏崎克彦（国際武道大学）、(新) 夫澤正美（日本学生柔道連盟）、理事長：小保田嗣（筑波大学）、副理事長：野瀬清喜（埼玉大学）、西田孝家（近畿学院大学）、理事：木村昌彦（横浜国大大学）、(新) 高橋進（関東学院大学）、吉川幸春（桐蔭横浜大学）、(新) 越野忠則（国際武道大学）、(新) 岩崎卓（流通経済大学）、監事：木村仁（神奈川大学）、(新) 小川正行（群馬大学）、事務局長：中村一成（房総大学）、事務局次長：(新) 三宅仁（平成国際大学）、(新) 玉木若葉（淑徳大学）。本連盟の更なる発展のためにご努力いただきたい。

さて、平成16年度の本連盟の主要な事業計画は、5月16日開東学生柔道優勝大会、同女子大会、9月4、5日開東学生柔道体重別選手権大会、同女子大会の2競技会の開催、8月29～31日全国大学柔道指導者研修会の主催、年2回の審判講習会の開催、海外研修の実施である。

優勝大会は、過日行われ、男子8校、女子5人制6校、3人制4校の併せて18校の代表を決定した。これまでより、男女共に2校の参加増となり、新しく権利を有した大学のご健闘を祈るとともに、各選手には開東学生柔道連盟を代表する者として、一本¹を目指す柔道の醍醐味を見せてもらえるよう祈る。大会終了後の理事会では、女子の大会呼称（5人制、3人制）について議論がなされ、これまでの流れに詳しい柏崎副会長が説明されていたが、「男子

が2回（優勝大会、体重別団体）出場できるのに対し、女子は1回であるためこの上うな問題が生じるので」という意見もあり、今後検討を進めていただければ幸いである。

全国大学柔道指導者研修会は、ここ最近、関東の学生が多く参加する形であったが、昨年は、各地区（特に、東京）より多くの参加者を得ることができ、一応の成果を挙げたものと考える。今年は、8月末日の開催となり、地区によっては体重別選手権大会と重なることも予想されるが、是非多くの指導者または指導者を目指す人に集まりいただき、友好を深めていただける場となることを期待する。

最後に、昨今の国際情勢、連盟財政の悪化により、本連盟の海外研修事業は、3年に亘って実施できていない。今年度は、是非その事業が行えるよう、国際情勢の安定と景気の回復を祈りたい。

関東学生柔道連盟
事務局長 中村一成

<東 京>

新体制スタート

今年度は、役員改選年度にあたり、4月1日より新役員体制でスタートしました。会長には、佐藤宣茂氏（東海大学）をお迎えし、堅実な運営運営を継続しつつも、新たな試みに向け努力してまいります。

さて、昨年度は、太企の運営費をさらに厳しく見直すことにより、安定した財務体質を維持できました。また、昨年度から導入したサポート制度（賛助会員）については、役員の尽力もあり、財源確保に成果をあげました。本年度はその継続に向けた新たな取り組みが始まっています。今年度は、過去2年間にわたり財政面から展開してきた「身の丈にあった運営」を維持し、将来を見据えた、「自主財源をベース」とした安定した運営運営を一層推進していきます。また、昨年度は、IT機器の導入にも積極的に取り組みました。一例として、煩雑な勤務作業をコンピュータ一処理することや、昨年来充実してきたホームページについては、大変好評をいただいております。今年度も連盟規則書類をメールにて配信する等、IT化を一層推進してまいります。

今年度も、当連盟は東京学生柔道優勝大会、東京学生柔道体重別選手権大会、東京学生柔道二部優勝大会、東京学生柔道オープン大会を主催し、全日本学生柔道優勝大会、全日本学生柔道体重別選手権大会を主催します。スポーツ

マネジメントの観点に即した大会運営の充実を目指し、努力してまいります。つきましては、各地区学生柔道連盟並びに関係各位の協力をあらためてお願い申し上げます。

東京学生柔道連盟
理事長 高木長之助

◇ 本年度役員について

役員改選にあたり、新役員は以下のとおりです。

特別顧問	瓦 方
	原田 義昭
顧問	佐藤 弘治
	小堀 義朗
	飯田 翔男
	松林 健司
	野川 亘
	渡辺 春三郎
会長	佐藤 実政
副会長	間 勝治
	植村 健次郎
	橋井 敏之輔
	小山 泰文
理事長	高木 長之助
副理事長	網倉 大介
	大高崎 日出夫

(専門委員会)

総務事業委員会	西川 直好
	細田 明
財務委員会	仲道 邦夫
	山田 利彦
普及委員会	白瀬 英春
	廣瀬 伸良

(事務局・学生役員)

事務局長	網倉 大介
次長	西川 直好
学生委員長	渡邊 武彰(日本大学)
副委員長	三谷 埃範(早稲田大学)
委員	渡辺 崇(日本体育大学)
	海野 宏幸(日本大学)
	小林 洋太朗(日本体育大学)
事務局員	秋森 伸子

◇ 行事予定について

5月23日

東京学生柔道優勝大会(男子53kg、女子15kg)
(日本武道館)

6月26日・27日

全日本学生柔道優勝大会(男子53kg、女子13kg)
(日本武道館)

9月5日

東京学生柔道体重別選手権大会(男子28kg、女子20kg)
(日本武道館)

10月2日・3日

全日本学生柔道体重別選手権大会(男子23kg、女子20kg)
(日本武道館)

11月28日

第46回東京学生柔道二部優勝大会
第4回東京学生柔道オーブン大会
(講道館)

2月28日～3月9日

東京学生柔道連盟平成16年度海外研修(ワシントン、ニューヨーク)

以上の通りですが、各事業円滑な運営ができるよう最善の努力をしてまいります。

◇ 学生役員より

主管として大会を運営する上で、各地区連盟には毎年ご協力を頂きありがとうございます。

私たちは、いかにスムーズに、そして円滑に大会運営を行つか日々検討し、今自分がやるべき仕事を探し、自主的に活動しております。今年度も昨年同様1年間の業務のマニュアル化を図ると共に、大会試合抽選にはコンピュータ一化をすすめ、ITを活用した業務の効率化を図り、業務に徹底していきたいと考えております。

少人数ではありますが、役割分担を確立し、また役員の先生方と連絡を密にし、学生の柔道の発展、そして教育団体として振舞に努めていきたいと思います。

各地区連盟の皆様、何卒ご指導、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

(東京学生柔道連盟学生委員長 渡邊式彰)

その頼もしさに敬意を表したい。また、来年3月には、北信越学生柔道連盟として、初の海外研修を現在企画中であり、学生柔道の更なる発展を目指したい。

今後とも、北信越学生柔道連盟にて努力を頂けますよう、心よりお願い申し上げます。

【北信越学生柔道連盟役員】

会長	洛谷 弘
副会長	西 豊夫
	上西 孔正
	三田 義明
	山本 康美
	柴川 博
	橋川 譲三
	大橋 実
理事長	吉見 浩二
副理事長	鍛邊 道勇
常任理事	鍛邊 滌子
	小林 伸明
	町谷 浩利
	竹田 達矣
	緒方 和男
	梅田 孝男
	高村 真司
	鈴木 敏紀

<関西>

①平成16年度関西学生柔道連盟行事日程

平成16年5月23日(日)

第54回関西学生柔道優勝大会

第12回関西学生女子柔道優勝大会

場所 尼崎市記念公園総合体育館

平成16年8月28日(土)

第1回関西学生柔道体重別選手権大会

場所 グリーンアリーナ神戸

平成16年8月28日(土)・29日(日)

第23回関西学生柔道体重別選手権大会

第16回関西学生女子柔道体重別選手権大会

場所 グリーンアリーナ神戸

平成16年11月6日(土)・7日(日)

第6回全日本学生柔道体重別選手権大会

場所 尼崎市記念公園総合体育館

②本年度の反省

年度始め、理事長を始めとし、事務局の先生方と学生役員による前年度の反省および本年度の試合運営について打合せを行った。

本年度の抱負として我が連盟では、事務局として各大会の運営(準備段階から)について役割分担表制を望き、各々の業務について検討した。準備段階に遅れがないか、また試合当日いかにスムーズに大会を運営していくかを討議する等、大会をより意義の有るものにするために連盟一同、多忙兼顾を期している。学生が学生自身のための大会を運営していく中でいかに参加後の協力を得るかが重要なとなるが、参加学生の意識向上も大切である。大会までの日程から運営して、抽選会日時・書類送付等の作業日程を詳細に構成し、それに準じて連盟役員が作業にあたり、各々各自の責任を明確に書き込むことも引き続き実行している。またコンピュータによる抽選を取り入れ、抽選の迅速かつ公平化を図っている。年々、柔道部員減少の中、学生役員については本年度卒業生も多数おり、次年度の中心となる役員の教育にも力を入れて行きたい。

今年11月の男子体重別選手権大会は、開催で開催して10年目になる。新たな試合方法等も大会運営上、検討する必要が生じてくると考え、昨年の反省を生かし準備を進め、連盟役員・学生役員が一致協力し、当たっていく所存である。

次に関西地区のレベルの強化である。近年全国大会において関西選抜選手の健闘も空しく上位に食い込むことが、かなり難しく見受けられる。レベルの強化については毎年合宿、遠征等、積極的に行っているがさらに強化向上の策を練り、レベルアップに努めていくことを目標とする。

③役員の紹介および加盟校

名誉会長	城戸 光
会長	古谷 七五郎
副会長	井之上 正信
	中路 洋一
	伊藤 利
理事長	岩田 勝

以下18名、また、顧問トクター17名、審判顧問5名、審判員89名、理事38名、評議員10名で構成されている。学生役員は8名(4月1日現在)である。

最後に加盟校は50校を数え、各府県別では、大阪24校、京都12校、兵庫10校、奈良4校、滋賀1校、鳥取山口2校である。

<中国四国>

本連盟では平成16年2月15日、岡山商科大学において常任理事会を開催し、本年度行事、予算等が決定されました。

本連盟にとって今年は記念すべき年度となります。全国学生柔道連盟や他の地区の連盟はすでに50周年を終えていますが、本連盟は遅れること3年上りやくその年を迎えることとなりました。3年遅れの理由は戦前、全国高校大会の予選地区分けが東部、中部、西部の3地区で中国四国は関西を中心とした中部に属し、山口県は九州を中心とした西部地区に属しておりました。そのため昭和26年関西学生柔道連盟誕生と同時に各大学が関西へと加盟して行きました。4年後に11大学をもって独立し、現在に至っております。同時に第一回中国四国学生柔道選手権大会は関西大会の中で開催され、白鶴六郎の命をひく岡山大学が優勝しております。

今、本連盟では50周年行事として、連盟誕生の地、岡山大学のモットーで記念大会と記念祝賀会、また記念誌の発行、記念事業として海外遠征等を計画実行中であり、猶も借りたいところですが、執行部と致しましては無事終えることを願って努力しております。

50周年行事終了後になりますが、これを機に大会の見直し（選手権の発足）・大会開催地の固定化、財源確保等々諸問題に取り組んで行きたいと考えております。

今年度もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

●行事予定

2月15日

中国四国学生柔道連盟常任理事会
(岡山商科大学)

4月11日

中国四国学生柔道連盟幹事会
(岡山市みよしの会館)

5月28日

中国四国学生柔道連盟理事会・総会
(岡山市みよしの会館)

5月29日

中国四国学生柔道選手権大会・同女子
(岡山県武道館)

5月29日

中国四国学生柔道連盟創立50周年記念祝賀会
(岡山ロイヤルホテル)

5月30日

中国四国学生柔道選手権大会・同女子
(岡山県武道館)

7月11日

中国四国学生柔道連盟幹事会
(岡山市)

8月28日

中国四国学生柔道体重別優勝大会・同女子大会
(岡山県武道館)

8月29日

中国四国学生柔道体重別団体優勝大会
(岡山県武道館)

9月上旬

海外遠征

(日程、場所等調整中)

中国四国学生柔道連盟
理事長 大谷 崇正

<九州>

平成16年度九州学生柔道連盟定期総会を5月22日(土)に開催し、議事は全て無事終了致しました。総会終了後に懇親会を行い、今後の学生柔道のありかた、昔話にと楽しむひと時でした。

また、5月22・23日の両日で、第53回九州学生柔道大会及び第18回九州学生女子柔道選手権大会を開催し(男子24校、女子5人制2校・3人制8校)、男子では筑波が10年連続31回目の優勝を果たし、女子では、5人制は福岡大・3人制は日本文理大がそれぞれ優勝致しました。

役員及び16年度の九州地区の行事は次の通りです。

会長	藤田 弘明
副会長	筑紫 仁
	大瀬 忠也
	園田 勇
理事長	中原 一
副理事長	安河内 春彦
事務局長	野田 修

9月4日(土)

第18回 九州学生女子柔道体重別選手権大会

9月4日(土)・5日(日)

第48回 九州学生柔道体重別選手権大会

9月25日(土)

第8回 九州学生柔道体重別団体優勝大会

全日本学生柔道優勝大会(男子53回 女子13回)

6月26・27日 開催

男子団体

- 優勝 東海大学
- 準優勝 国士館大学
- 三位 天理大学・明治大学
- ベスト8 日本体育大学・国際武道大学・筑波大学・中央大学
- 優秀選手 増渕 樹・大鎌 新(東海大学)
高井洋平・片瀬慎弥(国士館大学)
穴井隆輝(天理大学) 泉 浩(明治大学)
大蔵尚哉(日本体育大学)
瀬戸健太(国際武道大学)
加藤光輝(筑波大学) 木村 純(中央大学)

男子団体対戦表



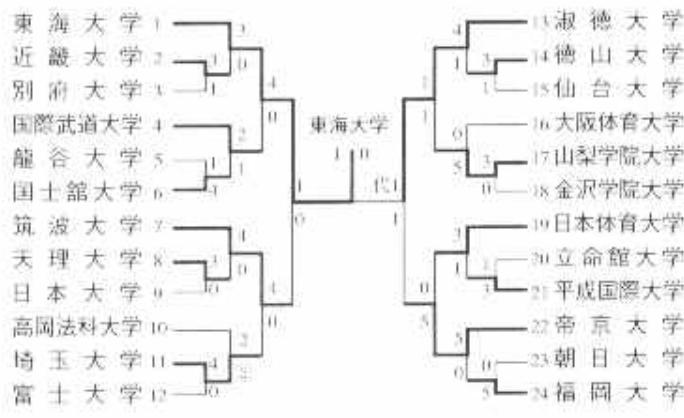
女子団体5人制

- 優勝 東海大学
- 準優勝 淑徳大学
- 三位 筑波大学・帝京大学
- 優秀選手 駒木奈緒美(東海大学) 国原蘿子(淑徳大学)
福見友子(筑波大学) 宮本樹理(帝京大学)

女子団体3人制

- 優勝 日本文理大学
- 準優勝 鹿屋体育大学
- 三位 愛知産業大学・名城大学
- 優秀選手 シシリア・ナイシガ(日本文理大学)
渡邊佳代子(鹿屋体育大学)
尾方皆穂子(愛知産業大学) 平林真理(名城大学)

女子団体5人制対戦表



女子団体3人制対戦表



社団法人 全日本学生柔道連盟(ALL JAPAN UNIVERSITY JUDO FEDERATION)

事務所 〒112-0003 東京都文京区春日1-16-30 講道館2階

TEL 03-3818-1587 FAX 03-3818-1960

E-mail:gakujuren@gakujuren.or.jp URL:<http://www.gakujuren.or.jp>